



2014年12月12日

<ご参考資料>

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

ノルウェーの政策金利引き下げについて

ノルウェー中央銀行は、現地 2014 年 12 月 11 日に政策金利である翌日物預金金利を 0.25% 引き下げ、年 1.25% にすると発表しました。政策金利の引き下げは、2012 年 3 月 14 日に 1.75% から 1.50% に引き下げて以来、およそ 2 年 9 か月ぶりです。市場では大半が金利据え置きを予想していました。

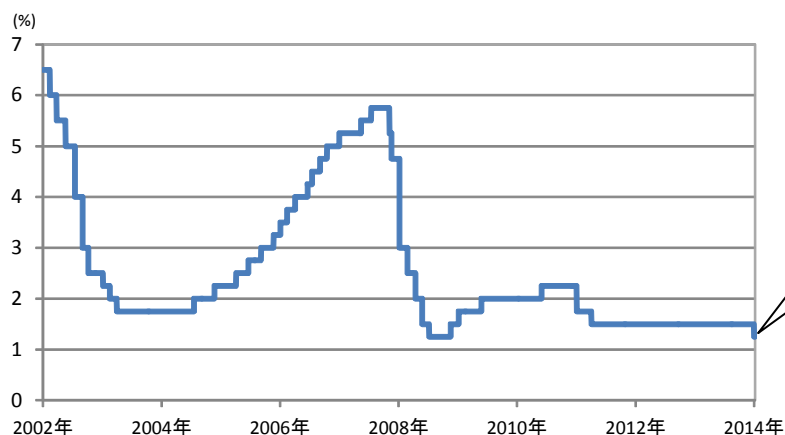
産油国のノルウェーは、今年 6 月の高値から 44% に及ぶ原油価格の下落や、欧州の景気低迷による逆風を受けており、金融緩和観測が高まっていました。

ノルウェー中央銀行は政策決定後の声明で、原油価格の急落でノルウェー経済の成長見通しが悪化し、失業率が今後やや上昇する可能性があるとは指摘しています。

利下げの発表を受けて、11 日の為替市場ではノルウェー・クローネが対ユーロでは 1.5%、対米ドルでも 1.8% 値を下げています。

一方で、ノルウェー・クローネ安は、ノルウェー経済にとっては追い風になるとの観測も出てきています。原油価格下落の影響をノルウェー・クローネ安が補う形となり、主要輸出品目である原油・天然ガスの輸出に関連する企業はもちろん、他の品目を取り扱う輸出関連事業者も恩恵を受けることが期待されます。

<ノルウェー政策金利の推移>
(2002年12月11日～2014年12月11日)



2014年12月11日
1.5% → 1.25% へ
0.25% の引き下げ